

国際安全保障学会(JAIS) 定例研究会 報告者応募要領

定例研究会小委員会(2015.12)

<定例研究会の応募資格について>

定例研究会は、学会の正式行事として学会誌と学会ホームページに実施実績を掲載します。院生・若手・新規の会員への機会提供を一つの狙いとして掲げておりますが、応募資格に制限は設けておりません。

定例研究会で報告を行うためには、会費の未納がないことが条件となります。入会申請中の方にも応募資格を認めますが、プロポーザルが採択された場合には、理事会で申請が承認された後、会費をご納入いただくことが報告を行う条件となります。同様に、以下につきましてもご注意ください。

- (1) 今年度に入って入会を承認された新会員の場合、今年度会費の納入
- (2) 過去に未納分のある会員の場合、未納分の会費全て(今年度まで)の納入が条件となります。

<応募書類について>

応募にあたり、以下2点を定例研究会小委員会へ送って下さい。

- (1) 「報告応募用紙」：ファイル名(例)「JAIS 第*回定例研究会報告応募(氏名)」(PDF形式)
- (2) 「③報告内容」：ファイル名(例)「JAIS 第*回定例研究会③報告内容(氏名)」(MS WORD形式)

上記2点の電子ファイルをメール添付にて、期日までに、定例研究会小委員会までお送りください。(期限厳守をお願いします。)

メール件名(例)「JAIS 第*回定例研究会報告応募(氏名)」

送信先 定例研究会小委員会 email: seminar*is-japan.org (*を@に置き換えてください)。

<③報告内容について>

報告応募用紙の「③報告内容」は別紙にて、以下の項目を含めA4用紙1枚程度(設定は40字/行、36行/ページ前後)で作成してください。

第*回定例研究会 報告応募③報告内容
報告テーマ(仮題)「」
氏名(肩書き)

- 1 どのような問題を解明しようとするのか(テーマと問い)、仮説ないしは主な結論は何か。
- 2 その問題の解明にどのような意義があるのか(研究上の意義)
- 3 問題解明の基本的アプローチ[分析枠組み、分析手法(データ、資料、史料等含む)]

なお、報告内容としては、広い意味での安全保障分野の研究であれば特に制約は設けませんが、理論、地域分析、歴史分析、政策指向研究(政策提言を含むが、その場合は単なる意見の主張ではなく論理的な裏づけを示す必要があります)などを期待しています。

以上の通りです。ご質問がありましたら、定例研究会小委員会へお尋ねください。

以上